

授 業 計 画

No.1

授業科目	ビジネス講座		担当教員	佐藤謙太	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	1

授業概要	このビジネス講座では、ビジネスの基本的な知識、社会人としてのマナーを学びます。人材教育の課題である問題力発見、提案力と発言力の醸成まで仕事に必要なとされる基本的な項目も学びます。また8つの意識(顧客、品質、納期、時間、目標、協調、改善、コスト)を中心にチームで働くマインドを身に付けます。結果としてビジネス能力検定ジョブパス3級の合格率80%以上を目指します。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	50 %	課題	30 %	他	20 %
教科書	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト		副教材および参考文献		プリント、過去問題、用語集他		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回(/)	ビジネスコミュニケーションの基本①	授業の目的、受験申込。キャリアと仕事へのアプローチ
第2回(/)	ビジネスコミュニケーションの基本②	仕事の基本となる8つのアプローチ
第3回(/)	ビジネスコミュニケーションの基本③	コミュニケーションのビジネスマナーの基本
第4回(/)	ビジネスコミュニケーションの基本④	指示の受け方と報告話し方聞き方のポイント
第5回(/)	ビジネスコミュニケーションの基本⑤	来客対応と訪問マナー
第6回(/)	仕事の実践とビジネスツール①	仕事への取り組み方
第7回(/)	仕事の実践とビジネスツール②	ビジネス文書の基本/電話対応
第8回(/)	仕事の実践とビジネスツール③	統計とデータの読み方/メディアの活用/経済の基本
第9回(/)	B検定模擬試験①	ビジネス能力検定ジョブパス模擬試験と自己採点他
第10回(/)	B検定模擬試験②	ビジネス能力検定ジョブパス模擬試験と自己採点他
第11回(/)	B検定模擬試験③	ビジネス能力検定ジョブパス模擬試験と自己採点他
第12回(/)	B検定試験解説	試験結果の解答ほか
第13回(/)	就職活動の心構え①	映像視聴1巻『資格技能を将来にいかす』他
第14回(/)	就職活動の心構え②	映像視聴3巻『履歴書とエントリーシート』他
第15回(/)	年金とは	制度について説明(外部招聘)
第16回(/)	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	就職講座Ⅱ		担当教員	大木 正臣	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	・企業の就職選考試験として取り入れられているSPI(選抜試験の総称としてSPIという語を用いるが、実際の試験は様々な問題が存在)試験対策を行う。SPIでは言語分野・非言語分野、一般常識では国語・社会・数学等の中から学習すべきポイントについて理解を深め知識の定着を図る。授業の中で、模擬テスト(性格検査・SPI3)を実施し、自分の理解度を確認して就職試験の本番までに突破できる力を養成することを目標とする。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	「SPI基礎からはじめる問題集」(実務教育出版)			副教材および参考文献		・プリント	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	・ガイダンス、性格検査	・ガイダンス/仕事算
第2回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(仕事算)、国語(二語関係:6択)
第3回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(鶴亀算1/2)、国語(二語関係 :5択)
第4回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(鶴亀算2/2)、国語(二語関係 :5択)
第5回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(損益算1/2)、国語(語句の用法)
第6回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(損益算2/2)、国語(語句の用法)
第7回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(速さ/時間/距離)、国語(語句の意味)
第8回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(場合の数)、国語(短文の穴埋め)
第9回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(確率)、国語(文章整序)
第10回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(割引料金)、国語(空欄補充)
第11回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(精算)、国語(空欄補充)
第12回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(割合/割賦) 国語(長文読解)
第13回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(割合/集合) 国語(長文読解)
第14回	・非言語分野(数学)/言語分野(国語)	・数学(割合/集合②) 国語(長文読解②)
第15回	・SPI3模擬テスト(別冊①)	・SPI3模擬テスト(別冊①)解答/解説
第16回	・期末試験	・期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	スポーツ実習		担当教員	生沼秀樹	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	この科目は、スポーツに親しむことによって、体を動かすことで爽快感・達成感・他者との連帯感等、精神的な充足も図り、更には、体力の向上・ストレスの発散・生活習慣病の予防など、心身両面にわたる健康の保持増進を目的とする。 また、様々なスポーツを経験することで新しい気付きや、楽しさを発見する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	80 %	他	20 %
教科書	なし			副教材および参考文献	なし		

	講 義 計 画		実 施 細 目	
	A種目	B種目	A種目	B種目
第1回	ガイダンス		全体の流れと今後のスケジュール確認	
第2回	バレーボール①	バスケットボール①	トス練習 → 紅白戦	パス練習 → 紅白戦
第3回	バレーボール②	バスケットボール②	トスリレー → 紅白戦	パスリレー → 紅白戦
第4回	バレーボール③	バスケットボール③	レシーブ練習 → 紅白戦	ドリブル練習 → 紅白戦
第5回	バレーボール④	バスケットボール④	レシーブリレー → 紅白戦	ドリブルリレー → 紅白戦
第6回	バレーボール⑤	バスケットボール⑤	サーブ練習 → 紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第7回	バレーボール⑥	バスケットボール⑥	サーブ陣取り合戦 → 紅白戦	シュート対決 → 紅白戦
第8回	バレーボール⑦	バスケットボール⑦	紅白戦	紅白戦
第9回	バレーボール⑧	バスケットボール⑧	紅白戦	紅白戦
第10回	バレーボール⑨	バスケットボール⑨	紅白戦	紅白戦
第11回	バレーボール⑩	フットサル①	紅白戦	パス・ドリブル練習 → 紅白戦
第12回	バレーボール⑪	フットサル②	紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第13回	バレーボール⑫	フットサル③	紅白戦	パス・ドリブル練習 → 紅白戦
第14回	バレーボール⑬	フットサル④	紅白戦	シュート練習 → 紅白戦
第15回	バレーボール⑭	フットサル⑤	紅白戦	紅白戦
第16回	バレーボール⑮	フットサル⑥	紅白戦	紅白戦

授 業 計 画

No.1

授業科目	国際コミュニケーション		担当教員	竹井 透	クラス	1年全クラス(選択)	
期別	前期	履修コマ数	※ コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

※7月～9月

授業概要	この科目の中心となる「マレーシア・ミニ留学」をグローバル人材育成の一環として実施する。 過去5年間にわたる本校マレーシアミニ留学を通じて蓄積した経験を生かし、1年生を対象に、前期の選択科目として位置づける。マレーシア留学の前後に事前学習・事後学習を実施する。 ただし受講生については、費用の一部にマレーシア奨学金制度を利用するため、選抜試験を実施し、合格者のみを対象とする。						
評価方法	成績評価	マレーシア研修でグループワークへの取り組み姿勢、事前学習での意欲度、事後学習での課題の発表等の総合成績で評価する。					
	評価割合	試験	0 %	課題	50 %	他	50 %
教科書	マレーシア・ガイドブック (マレーシア政府観光局発行)			副教材および 参考文献		プリント(英会話他)	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	事前学習①	オリエンテーション・基本英会話(学校)
第2回	事前学習②	マレーシアの歴史と文化・基本英会話(学校)
第3回	事前学習③	グループワーク 事前準備・基本英会話(学校)
第4回	マレーシア研修	グループワーク(inクアラ Lumpur)
第5回	マレーシア研修	グループワーク
第6回	マレーシア研修	グループワーク
第7回	マレーシア研修	グループワーク
第8回	マレーシア研修	カレッジ交流 ※UTAR大学
第9回	マレーシア研修	カレッジ交流
第10回	マレーシア研修	カレッジ交流
第11回	マレーシア研修	グループワーク
第12回	マレーシア研修	グループワーク
第13回	マレーシア研修	グループワーク
第14回	マレーシア研修	グループワーク
第15回	マレーシア研修	グループワーク
第16回	マレーシア研修	グループワーク

	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	マレーシア研修	グループワーク
第18回	マレーシア研修	グループワーク
第19回	マレーシア研修	グループワーク
第20回	マレーシア研修	グループワーク
第21回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ ※マラッカ(2泊3日)
第22回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第23回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第24回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第25回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第26回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第27回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第28回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ
第29回	マレーシア研修	カンポン・ホームステイ 閉村式
第30回	事後学習①	グループワーク まとめ(学校)
第31回	事後学習②	グループワーク まとめ(学校)
第32回	事後学習③	グループワーク 発表会(学校)

授 業 計 画

No.1

授業科目	ハードウェア		担当教員	竹野谷 義彰	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	講義	単位数	4

授業概要	ハードウェアの分野を取り扱う。 授業では教科書をベースに、随時確認テストを実施しながら進める。 今後の午前免除試験を見据え、過去問の解説も随時行っていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	・ITワールド			副教材および参考文献		・過去問題	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回(/)	コンピュータの基本構成	五大装置、基数変換(2進数、10進数)
第2回(/)	コンピュータのデータ表現①	単位、基数変換(8進数、16進数)
第3回(/)	コンピュータのデータ表現②	文字データ、基数変換(8進数、16進数)
第4回(/)	10進表記と固定小数点	ゾーン10進、パック10進、固定小数点
第5回(/)	浮動小数点	単精度浮動小数点、倍精度浮動小数点
第6回(/)	補数	1の補数、2の補数、その他の補数
第7回(/)	シフト演算	誤差、論理シフト、算術シフト
第8回(/)	中央処理装置・主記憶装置の構成	中央処理装置・主記憶装置の構成、シフト演算まとめ
第9回(/)	命令とアドレッシング	割り込み、論理演算
第10回(/)	論理回路	論理演算、半加算、全加算、高速化技術
第11回(/)	サーティファイ3級対策①	3級分野別問題 基礎理論
第12回(/)	サーティファイ3級対策②	3級分野別問題 計算
第13回(/)	高速化技術	キャッシュ計算、プロセッサの高速化
第14回(/)	入出力装置①	入力装置
第15回(/)	入出力装置②	出力装置
第16回(/)	補助記憶装置①	磁気ディスクの概要

	講義計画	実施細目
第17回	ハードウェア	磁気ディスクの計算
第18回	補助記憶装置③	平均アクセス時間
第19回	補助記憶装置④	磁気ディスクの計算まとめ
第20回	総まとめ	総まとめ
第21回	サーティファイ2級1部対策①	2級分野別問題 計算
第22回	サーティファイ2級1部対策②	2級分野別問題 理論
第23回	午前免除対策①	分野別問題 コンピュータの基本構成
第24回	午前免除対策②	分野別問題 コンピュータのデータ表現
第25回	午前免除対策③	分野別問題 補助記憶装置
第26回	午前免除対策④	分野別問題 補助記憶装置
第27回	応用情報午前対策①	ハードウェア
第28回	応用情報午前対策②	ソフトウェア
第29回	応用情報午前対策③	ネットワーク
第30回	応用情報午前対策④	データベース
第31回	応用情報午前対策⑤	セキュリティ
第32回	応用情報午前対策⑥	マネージメント

授 業 計 画

No.1

授業科目	ソフトウェア		担当教員	吉永 崇志	クラス	ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	<p>この科目は、情報処理システム、ソフトウェアの基本的な知識を習得し、基本情報処理試験の午前問題に位置づけ、午前免除試験合格を目指すことを目的とする。 授業では教科書をベースに、副教材を活用し、随時確認テストを実施しながら進める。 また、現実社会ではどのように使われているのか具体例を幅広く解説することで日常生活とのかかわりにも紐づけながら解説するように行う。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	20 %	他	10 %
教科書	ITワールド			副教材および 参考文献		過去問題 (FE、オリジナル)	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目のガイダンス	自己紹介、授業の進め方
第2回	ソフトウェアの分類	マイクロカーネルとモノリシックカーネルについて
第3回	OS(オペレーティングシステム)	UNIXとLinuxにおける歴史と機能について
第4回	ソフトウェアライセンス	GPLなどのライセンスや知財について
第5回	OSの機能	スケジューラや排他制御について
第6回	プログラム言語と言語プロセッサ	手続型言語とオブジェクト指向言語
第7回	オートマトンと正規表現	オートマトンと正規表現について
第8回	ファイルの方式	ファイルのアクセス方式、ファイル編成方式
第9回	情報処理システムの処理形態	非対話処理と対話処理、一括処理と即時処理
第10回	高信頼化システムの構成	直列システム、並列システム、多重化システム
第11回	情報処理システムの評価	処理能力の評価
第12回	ヒューマンインターフェース	ユーザビリティとアクセシビリティについて
第13回	マルチメディア	PCMによる符号化手順
第14回	総復習①	ソフトウェア領域
第15回	総復習②	情報処理システム領域
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	アルゴリズム		担当教員	大石 有里	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	本科目は、基本情報技術者試験の科目に含まれるアルゴリズムの対策を主目的とする。 また、将来的に求められる論理的思考力を養う事も目的の一つとする。 基本となるデータ型やデータ構造を中心に学習を進め、午前試験対策を行う。また、フローチャートと擬似言語を用いて処理を考える練習を行うことで、後期の午後試験に向けて準備していく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	擬似言語で学ぶアルゴリズム			副教材および参考文献			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	アルゴリズムの基本	授業の進め方/アルゴリズムとは/流れ図
第2回	フローチャート	基本制御構造(順次、選択、繰返し)と書き方
第3回	変数	変数/定数/カウンタ
第4回	計算のアルゴリズム	繰返し処理を使った計算処理
第5回	擬似言語①	擬似言語の読み方
第6回	擬似言語②	擬似言語の書き方
第7回	擬似言語③	擬似言語の演習問題
第8回	配列①	一次元配列
第9回	配列②	二次元配列
第10回	配列③	配列を使った処理の演習
第11回	データ構造①	リスト構造/スタック
第12回	データ構造②	キュー/木構造
第13回	検定対策	情報処理検定対策(サーティファイ・基本情報)
第14回	データ構造③	データ構造の復習(演習問題)
第15回	総復習	期末試験前の総復習
第16回	期末試験	期末試験の実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	基本情報技術者試験対策		担当教員	沼田聡暁	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	7月に実施されるIPA午前免除及び1月に実施される基本情報技術者試験合格を目指すために、主に過去問の演習と解説を行い合格を目指す。 午前免除試験の結果を期末試験に割り当てる。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	0 %	他	100 %
教科書	ITワールド			副教材および参考文献		オリジナル	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回(/)	科目のガイダンス	自己紹介、授業の進め方、基数変換演習
第2回(/)	サーティファイ3級対策①	分野別 ハードウェア
第3回(/)	サーティファイ3級対策②	分野別 ソフトウェア
第4回(/)	サーティファイ3級対策③	分野別 マネージメント
第5回(/)	サーティファイ3級対策④	過去問演習 第49回
第6回(/)	サーティファイ3級対策⑤	過去問演習 第59回
第7回(/)	サーティファイ2級1部対策①	分野別 ハードウェア
第8回(/)	サーティファイ2級1部対策②	分野別 ソフトウェア
第9回(/)	サーティファイ2級1部対策③	分野別 マネージメント
第10回(/)	サーティファイ2級1部対策④	過去問演習 第49回
第11回(/)	サーティファイ2級1部対策⑤	過去問演習 第59回
第12回(/)	午前免除問題対策①	分野別 ストラテジ
第13回(/)	午前免除問題対策②	分野別 マネジメント
第14回(/)	午前免除問題対策③	総合演習
第15回(/)	応用情報技術者試験 午前	午前問題 ピックアップ
第16回(/)	応用情報技術者試験 午後	午後問題 ピックアップ

授 業 計 画

No.1

授業科目	ネットワークセキュリティ基礎	担当教員	佐久間 洋	クラス	情報ネットワーク科1年
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義
				単位数	2

授業概要	本科目ではネットワークの基礎を学習する。 大卒の仕組みを知るところからスタートし、実演によって、より実践的な知識を身に付けていく。 授業回ごとに検定試験想定の問題を解くことによって、検定試験での合格率向上も目指す。					
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。				
	評価割合	試験	60 %	課題	20 %	他
教科書	ITワールド	副教材および参考文献	オリジナル教材			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス	学習目的と科目の目標、ハッカーはなぜ儲かるのか
第2回	プロトコル、インターネット	インターネットへの接続手順、なぜWiFiはDHCPなのか
第3回	ネットワークアーキテクチャ	OSIとTCP/IPモデル、プロトコルとポート、社員にDiscordさせない技術
第4回	LAN、WAN	小規模ネットワークの構成機器
第5回	通信技術	変調方式、伝送手順、誤り検出ゲーム
第6回	検定対策(ネットワークとセキュリティ)①	情報処理3級対策としてネットワークとセキュリティ部分の過去問を対策
第7回	運用管理	ネットワーク管理ツール、通信障害の調査手順
第8回	ネットワークの振り返り小テスト	第1～7回の内容を総復習(小テストを実施)
第9回	セキュリティの概念	スーツとギークの話、ウイルスを作ってWindowsセキュリティの動作確認
第10回	共通鍵・公開鍵暗号方式	シーザー暗号、上杉暗号、誕生日当てマジックと各種暗号方式
第11回	検定対策(ネットワークとセキュリティ)②	情報処理2級対策としてネットワークとセキュリティ部分の過去問を対策
第12回	セキュリティマネジメント	ISMS・リスクマネジメント・ハッカーが不正侵入する手順の再現テスト
第13回	ネットワークのポイント	午前免除試験の問題(ネットワーク部分)を解きながら、授業の振り返る
第14回	セキュリティのポイント	午前免除試験の問題(セキュリティ部分)を解きながら、授業を振り返る
第15回	総復習	期末試験を実施
第16回	期末試験	期末試験を実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	企業と法務		担当教員	佐久間 洋	クラス	情報ネットワーク科1年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	本科目では企業が行う業務・財務・法務について、その基礎を学習する。 また、情報処理系の検定対策としてストラテジ、マネジメント分野の過去問を解説することで、 検定試験での合格率向上も目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	60 %	課題	20 %	他	20 %
教科書	IT戦略とマネジメント			副教材および 参考文献		オリジナル教材	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	科目ガイダンス	学習目的と科目の目標
第2回	企業活動の概要と企業会計	企業活動の目的、財務諸表
第3回	オペレーションズリサーチ	アローダイアグラム、ガントチャート、在庫問題
第4回	経営工学	相関関係、QC七つ道具
第5回	業務分析	ブレインストーミング、データマイニング
第6回	検定対策(企業と法務)①	情報処理3級対策としてストラテジ・マネジメント部分の過去問を対策
第7回	知的財産権	著作権と産業財産権
第8回	セキュリティ関連法規	サイバーセキュリティ基本法、不正アクセス禁止法
第9回	労働関連法規	労働基準法、労働者派遣法
第10回	検定対策(企業と法務)②	情報処理2級対策としてストラテジ・マネジメント部分の過去問を対策
第11回	その他の関連法規と標準化	コンプライアンス、JIS、ISO、共通フレーム
第12回	マネジメント	マネジメント分野の解説(頻出問題中心)
第13回	企業活動のポイント	午前免除試験の問題(企業活動部分)を解きながら、授業の振り返る
第14回	法務のポイント	午前免除試験の問題(法務部分)を解きながら、授業を振り返る
第15回	総復習	総復習と理解度確認テストを実施
第16回	期末試験	期末試験を実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	Java開発(文法)		担当教員	嶋之内 仁馬	クラス	情報ネットワーク科 1年	
期別	前期	履修コマ数	3 コマ/週	授業形態	演習	単位数	3

授業概要	本講義はシステム開発で需要の高いJava言語の書き方についての講義、演習を行う。 原則2コマの授業を1セットとし、新しい文法に関する講義を1コマ、演習を1コマとして授業を行う						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他	20 %
教科書	新・明解Java入門			副教材および参考文献		paizaラーニング	

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	ガイダンス	授業のガイダンス、環境準備、Javaプログラミングの実行
第2回	Javaプログラミングとは①	文字列の表示
第3回	Javaプログラミングとは②	変数の利用、演算子による計算、データの型
第4回	Javaプログラミングとは③	変数、演算子、データ型の演習
第5回	条件分岐①	if文、else if文、比較演算子
第6回	条件分岐②	if文、else if文、比較演算子の演習
第7回	総合演習①	条件分岐に関する演習問題 - その1
第8回	複数の条件分岐①	AND演算子、OR演算子、switch文
第9回	複数の条件分岐②	AND演算子、OR演算子、switch文の演習
第10回	総合演習②	条件分岐に関する演習問題 - その2
第11回	while文による繰り返し①	while文、do文との違い、while文の活用例
第12回	while文による繰り返し②	while文、do文との違い、while文の活用例の演習
第13回	for文による繰り返し①	for文、for文のネスト
第14回	for文による繰り返し②	for文、for文のネストの演習
第15回	総合演習③	繰り返し文に関する演習問題 - その1
第16回	総合演習④	繰り返し文に関する演習問題 - その2

	講義計画	実施細目
第17回	基本型と演算①	基本型、演算と型
第18回	基本型と演算②	基本型、演算と型に関する演習問題
第19回	配列①	配列の定義、初期化、for文による配列の利用
第20回	配列②	配列の定義、初期化、for文による配列の利用の演習
第21回	多次元配列①	多次元配列の定義、初期化、利用
第22回	多次元配列②	多次元配列の定義、初期化、利用の演習
第23回	総合演習⑤	配列・多次元配列に関する演習問題
第24回	メソッドについて①	メソッドの定義、利用
第25回	メソッドについて②	メソッドの定義、利用の演習
第26回	総合演習⑥	メソッドに関する演習問題
第27回	オブジェクト指向とは①	クラスの定義、呼出し、メンバ変数
第28回	オブジェクト指向とは②	クラスの定義、呼出し、メンバ変数の演習
第29回	オブジェクト指向とは③	メンバ関数、コンストラクタ
第30回	オブジェクト指向とは④	メンバ関数、コンストラクタの演習
第31回	総合演習⑦	オブジェクト指向に関する演習問題 - その1
第32回	アクセスレベルの指定①	アクセス修飾子、getter、setter
第33回	アクセスレベルの指定②	アクセス修飾子、getter、setterの演習
第34回	総合演習⑧	オブジェクト指向に関する演習問題 - その2
第35回	静的メンバ①	静的メンバ変数、メンバ関数
第36回	静的メンバ②	静的メンバ変数、メンバ関数の演習
第37回	継承①	派生と継承、派生とコンストラクタ
第38回	継承②	派生と継承、派生とコンストラクタの演習
第39回	継承③	多相性、継承とアクセス性
第40回	継承④	多相性、継承とアクセス性の演習
第41回	模擬テスト	期末テストの模擬試験の実施
第42回	インタフェース①	インタフェースの定義、インタフェースの実装
第43回	インタフェース②	インタフェースの定義、インタフェースの実装の演習
第44回	総合演習⑨	継承・インタフェースに関する演習問題
第45回	総復習①	変数、if文、for文の総まとめ
第46回	総復習②	配列、メソッドの総まとめ
第47回	総復習③	オブジェクト指向の総まとめ
第48回	期末テスト	期末テストの実施

授 業 計 画

No.1

授業科目	データベース概論	担当教員	黒瀬 晃秀	クラス	情報ネットワーク科 1年
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習
				単位数	1

授業概要	リレーショナルデータベースについての基礎理論(データモデリング、一貫性、正規化など)を学び、実習として、MySQLを用いて簡単なリレーショナルデータベースの構築から行うことによって、データベースを使用するための基本的な知識と技術を身につける。					
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。				
	評価割合	試験	80 %	課題	0 %	他
教科書	データベースとSQL	副教材および参考文献	なし			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	第1～2章 データベース管理	概要説明、データベースの概要、テーブル定義など
第2回	第3～4章 データモデル	主キー、外部キー、
第3回	第5章 データベースの定義	CREATE命令、DROP命令
第4回	第6章 SELECT文の基礎	SELECTの使い方
第5回	第6章 SELECT文の基礎	複合条件について
第6回	第7章 集合関数とグループ集計/整列	SUM、AVG、COUNTの使い方
第7回	第8章 データの挿入/削除/更新	INSERT命令、DELETE命令、UPDATE命令など
第8回	第9章 複数のテーブル操作	外部結合(OUTER JOIN)について
第9回	第10章 ビュー	CREATE VIEWの定義の仕方
第10回	第11章 副照会	IN句とNOT IN句、EXISTS句の使い方
第11回	第11章 条件分岐	CASE式の記述方法、演習
第12回	第12章 トランザクション処理	トランザクションの実装方法、コミット、ロールバック、ロックなど
第13回	第13章 総合演習1	P112～P119各種問題
第14回	第14章 総合演習2	P121～P123各種問題
第15回	総復習	総復習/整理
第16回	期末試験	期末試験の実施